

◎物性研究所創立40周年所内公開日（11月28、29日）は液体ヘリウムの供給は致しません。

11月28日（金）、29日（土）の両日は物性研究所創立40周年による公開が行われますが、当日は液化室も会場となりますので液体ヘリウムの供給や、ストレージの貸し出し、ヘリウムガスボンベの交換等の業務は中止しますので、ご注意ください。ただし、液体窒素は従来通り利用できます。

実験、公開に必要な液体ヘリウムは前日までに確保しておいて下さい。

◎ストレージ管理に注意をはらって下さい。

最近ではヘリウムガスの回収率も大きな洩れがなく、少しずつ改善しつつあるように見受けられますが、しかし、ストレージの管理にいま一つルーズなところがあって、回収率に多少の影響を与えているのではないかとと思われるフシがあります。

例えば

- ①トランスファチューブ差込口のウィルソンシール部の“O”リングが切れていたり、“O”リング押さえが逆についている。
- ②K・Fフランジ部のセンターリングの“O”リングが塑性変形して弾力性が無くなり、“O”リングの役目を果たしていない。
- ③ストレージを回収配管やバルーンにつなげず、切り込みのついたゴム管で済ませている。
- ④トランスファチューブ差込口のゴム管が劣化していたり、裂けている。

これら一つ一つの事故は洩れは小さく、全くガスが回収されないということはありませんが、しかし、チリも積もれば何とやらたまたまのようにそのまま放置しておくことは良くないことなので、ストレージはしっかり管理していただきたいと思えます。

